



ミス日本

2025
11

Miss Japan News

ミス日本ニュース

11月

14日
20,23,24日

東京2025デフリンピック スクエア開所式とボランティア



ミス日本協会は東京2025デフリンピックのトータルサポートメンバーとして協賛、大会イベントや告知に協力いたしました。

デフリンピックスクエアの開所式にはグランプリ石川

満里奈と水の天使の高坂実優、みどりの大天使佐塚こころが登場し、メディアにスクエアの一部出展の説明を行いました。スクエアには耳の聞こえない、聞こえづらい人たちを助けるためのテクノロジーや補助装置が多数展示されており、興味深く体験しておりました。さらに競技期間中にはボランティアスタッフとしてハンマー投げと卓球をお手伝いいたしました。ろう文化への理解を深め共に手をとりましょう。

11月27日

愛媛県大瀬小学校緑の少年団 結成式とキノハナワークショップ



愛媛県の大瀬小学校に新たに緑の少年団が結成されることになり、みどりの大天使佐塚が式典に出席しました。佐塚もかつては少年団員として、自然体験や森林保全活動などを体験し、それが今も郷土愛として繋がっているとお話し。全校生徒にエールを送りました。

続いてキノハナワークショップではカシナ屑から花束を作成。子どもたちの笑顔があふれる会となりました。

11月26日

航行の安全確保への感謝 海賊対処活動に対する感謝の集い



島国日本に住む私達は、その生活に必要な物資の多くを海外から取り寄せています。その運搬の約99.6%は海運によって運ばれているため、**日本近海はもちろん、世界の会場交通の安全を守ることは日本国民にとって死活問題です**。海上自衛隊および海上保安庁は、テロや海賊が出現する地域において、安全を守る任務を行っており、世界の安定に大きな貢献をしています。この日、**危険な任務をごなして帰国された隊員たちを労う感謝の集い**が開催され、海運関係機関の代表者や政府関係者などが集まり、ミス日本「海の日」高橋彩乃が司会として登場しました。高橋は尊敬と感謝を念頭に、隊員一人ひとりにお話を聞き、貴重な体験談を伺いました。

11月11日

茨城大学学生向け 水道事業啓発セミナー



水の天使の高坂が、国土交通省が主催する大学生向けの水道事業啓発セミナーにゲスト参加しました。理系や土木、システム系の学生たちに、水業界への理解と関心を高めて、就職先として志向してもらうことが目的です。同世代の高坂は、これまで見聞きしていた水業界がどれだけ尊く素晴らしい分野であるかを熱弁。ちょうど同世代ということもあり、等身大のお話と言葉はわかりやすく学生たちのインフラ分野への関心を刺激しておりました。

11月の活動ニュース

11月1日

高知もくもくエコランド
キノハナワークショップ

高知県の森林率は84%で日本一です。地元の子どもたちに木に親しんでもらうイベントにみどりの大天使の佐塚が登場しました。ウッドカットセレモニーや餅投げに登場した後はキノハナ作りのワークショップを開催。子どもたちにかんなくずから花束を作成し、木を使うことの大切さをお話しました。

11月4日

第4回森林づくり全国推進会議 &
森林×ACTチャレンジ2025表彰

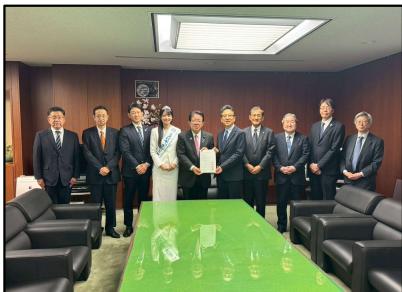
みどりの大天使佐塚が、森林づくり全国推進会議の司会進行を務めました。林野庁では森林の価値を見出すために森林浴などの取り組みや企業の森林づくりなど「森業」を推進しています。優良事例の発表と表彰式では受賞者を祝福。また高校生による新しい荒廃竹林整備のアイデアには関係者も佐塚も目を見張りました。林業の発展を考える機会となりました。

11月6日

日本下水道管路管理業協会関東支部
管路管理技術研修会

下水道の管路を維持管理するため、管路管理技術の最新分野を学ぶ研修会が開催され、司会としてグラントリーの石川満里奈が登場しました。八潮市の道路陥没事故を念頭に、下水道管の補修や工法についていろいろな立場からの講演を聞き、現場で働く皆様の働きに感謝を感じる一日でした。

11月6日

下水道整備促進全国大会
代表者提言活動

下水道事業に必要な来年度の政府予算を確保するため、関連団体による整備促進全国大会が開催され、水の天使高坂も出席しました。大会後はまとめられた提言書を提出しに、下水道界のリーダーたちとともに政府や政治家を訪問。高坂も若者の代表として、安心安全な生活インフラの維持を訴えました。

11月7日

高知市水道通水100周年
記念式典司会に水の天使

高知市の水道通水100周年を記念するお祝いの式典に、水の天使高坂が司会として登場しました。高知市は水不足や災害の困難を乗り越えて、水道の敷設と維持発展に努めてきました。会では水道の歴史と町の発展の歴史を合わせて振り返り、水インフラの大切さを改めて再認識していきます。最後は水業界で働くみなさまへの感謝へとまとめられて閉幕しました。

11月7日

全国木のまちサミット2025
inしまんと 歌唱披露

高知県の四万十市で開催された木のまちサミットの司会進行に2023みどりの大天使の上村さや香が登場しました。高知県は林業が盛んということもあり木を使うことや、山の価値を創造し、山を維持していくことについて、議論が交わされておりました。

白熱した議論の最後には上村が林業応援オリジナルソング「森で愛ましょう」を披露。サミット参加者に染み渡るような歌詞と響きに、大きな拍手が巻きおこりました。

11月9日

第8回ふくしま植樹祭



2018年に全国植樹祭が開催されて以降、その理念を引き継いで毎年開催されているふくしま植樹祭にみどりの大天使佐塚こころと、2017みどりの女神の野中葵が登場しました。

県民の皆さんと共に、植樹をしていきます。会場には森林に親しむワークショップや体験プログラムも多数あり、2人のミス日本も参加を呼びかけながら自身も楽しく体験しておりました。

11月10日

信越放送ラジオ収録
森ガールズのおしゃべりカフェタイム

みどりの大天使佐塚がレギュラー出演するラジオ番組の収録が都内で行われました。今回のテーマは紙で、ハンバーガーの包装紙や段ボール、カレンダーなど身近にある紙にどのような工夫がされているか、お話を伺っていました。ラジオは信越放送毎週水曜15時30分、Radicoで視聴可能です。

11月の活動ニュース

11月12日

日本下水管路管理業協会
令和7年度下水管路管理セミナー

ミス日本グランプリの石川が下水道維持管理について最新技術紹介のセミナー司会として登場しました。DXやAI技術、ドローン技術により下水道維持管理の世界

も「新しい仕事の常識」が生まれつつあります。実際に現場で働く方々が多く参加し、熱心に学んでいる様子に感嘆しておりました。

11月12日

カンツールフェスタ東京



ミス日本を協賛しているカンツール社による、お得意様向けお祭り&商談イベントに水の天使高坂がゲスト登場しました。多数のお得意様が来場され、輪投げやボウリングとともに下水道管の点検カメラや洗浄機器の体験をしておりました。高坂は、縁日っぽいけどどこか縁日ではない、そんな不思議な縁の作り方に、営業の大切さを学びました。

11月15日

福島の森と木の親子体験
オンライン教室2025

自宅などで親子で一緒に森林を学ぶるプログラムに、2024みどりの大使安藤きらりが司会として登場しました。参加者には事前になめこ栽培キットが送られ、森の恵みを体験。オンライン教室ではキノコの不思議を探るクイズや、キノコの専門家が収穫のポイントを教えるなど、子供の興味が尽きない工夫に満ちた会でした。安藤も元気なテンションで、終始盛り上げに徹しておりました。

11月
15,16日子どもの森林づくりフォーラム
in奈良

みどりの大使の佐塚ころが、子どもたちのための森林のあり方を考えるフォーラムの司会を担当しました。森のようちえんやアスレチック、自然体験会など、子供の心と身体の発育のために、森の多様性が注目されています。佐塚自身もみどり豊かな地域で育ったこともあり、こどもと森林の関係の大切さについて、学び、噛み締める一日となりました。

11月
18、25日映像ナレーション収録
全国育樹祭＆緑の少年団

10月に行われた全国育樹祭の映像や、緑の少年団の活動を紹介する映像について、みどりの大使の佐塚がナレーション吹き込みに挑みました。将来はアナウンサーを志望していることもあり、その予行演習として発音ひとつひとつに気をつけて収録にあたりました。

11月19日

南都留森林組合
マウンテンバイクコースPR

山梨県の南都留森林組合が、山林を利用したマウンテンバイクコースを整備中です。全国でも突出した12コースを備え、MTB乗りの注目を集めることの施設の体験PRのため、みどりの大使の佐塚が登場しました。佐塚はMTB初体験ですが初心者講習を受けてからは山林をスイスイ走るMTBの楽しさに目覚めておりました。コース完成は来年春ごろの予定です！注目！

11月22日

山野井正郎氏
藍綬褒章受章祝賀会にミス日本

2025秋の褒章にて藍綬褒章を受章された山野井正郎氏の祝賀会に、御縁があつてミス日本グランプリ石川が司会として登場しました。山野井氏は、横浜上大岡の自衛官募集や、住宅や不動産関係にて活躍されています。

山野井氏は「誰を守るのか、誰から守るのか、誰によって守られるのか」をお話。社会の一員としてその社会発展に責任を持った大人の言葉に、石川は大きな感銘を受けておりました。受章、誠におめでとうございます！

11月29日

茨城グリーンフェスティバル



茨城県で開催された林業への親しみを深めるイベントにみどりの大使の佐塚が登場しました。ミニ上棟式でお餅やお菓子を巻いた後は、みどりの募金の呼びかけを行い、集まった方々に苗木の配布をしていきます。

林業機械の実演体験も行うなど、たくさんの企画に引っ張りだこでした。

11月の活動ニュース

11月30日

京都府農林水産フェスティバル キノハナワークショップ



京都産の農林水産物や木工品が一堂に集まるイベントに、みどりの大使の佐塚が登場しました。目玉のワークショップでは、キノハナづくりを指導して、参加者に花束作成を楽しんでもらいます。自分の手で作り上げた木の花束に参加者はみな満足そうでした。トークショーではこれまでの活動紹介や、たくさん取得している資格の話で盛り上りました。

11月の活動

31-11月3日 ファイナリスト向け勉強会 第2期

- 1日 高知もくもくエコランド キノハナワークショップ/佐塚
- 4日 森林XACTチャレンジ2025表彰式
サザエさん一家もりのわ話吹き出しコンテスト表彰式
第4回森林づくり全国推進会議 司会進行/佐塚
- 6日 日本下水道管路管理業協会関東支部
管路管理技術研修会 司会/石川
下水道整備促進全国大会&代表者提言活動/高坂
- 7日 高知市水道通水100周年記念式典 司会/高坂
全国木のまちサミット2025inしまんと /23上村さや香
- 9日 第8回ふくしま植樹祭 出演/佐塚,17野中葵
- 10日 ラジオ森ガールズのおしゃべりカフェタイム 収録/佐塚
- 11日 茨城大学学生向け水道事業啓発セミナー ゲスト/高坂
- 12日 令和7年度下水道管路管理セミナー 司会/石川
カンツールフェスタ東京 出演/高坂
- 14日 デフリンピック開催直前イベント/佐塚,石川,高坂
- 15日 福島の森と木の親子体験オンライン教室
出演/24安藤きらり
- 15,16日 子どもの森林づくりフォーラムin奈良 司会/佐塚
- 18日 国土緑化推進機構 緑の少年団映像 ナレ収録/佐塚
- 19日 南都留森林組合マウンテンバイクコースPR取材/佐塚
- 20,23,24日 デフリンピック大会ボランティア/佐塚,高坂
- 22日 山野井正郎氏藍綬褒章 受章祝賀会 司会/石川
- 25日 全国育樹祭公式映像 ナレ収録/佐塚
- 26日 海賊対処活動感謝の集い ゲスト/高橋
- 27日 愛媛県 大瀬小学校緑の少年団結成式及び森林環境教室
キノハナワークショップ/佐塚
- 29日 茨城グリーンフェスティバル ゲスト/佐塚
- 30日 京都府農林水産フェスティバル
キノハナワークショップ/佐塚

11月のメディア

4,7,20,25 【WEB】FITNESS LOVE ミス日本便り掲載
3,8,13,19 【WEB】Devieviewミス日本活動ニュース掲載

【冊子】日本下水道協会「下水道協会誌」寄稿/高坂
【冊子】林野庁「情報誌林野」寄稿/佐塚
【冊子】全日本海員組合会報誌「海員」寄稿/高橋

12月の予定

- 1日 日本下水道事業団季刊「水すまし」栃木県取材/高坂
- 2日 前澤工業新設工場見学会/高坂
- 5日-8日 ファイナリスト向け勉強会 第3期
- 8日 ミス日本コンテスト開催告知&
ファイナリストお披露目記者発表会**
- スponチフォーラム FOR ALL 2025 /石川,高坂
- 10日 日本水道運営管理協会 会員報告会/高坂
エコプロ2025 ウッドデザイン賞表彰式 /佐塚
- 12日 マンホールカード振興財団設立1周年記念
感謝の集い/高坂
- 13日 かながわトラストみどり財団
令和7年度緑化運動育樹運動コンクール表彰式/佐塚
- 15日 第91回大和リース会 司会/佐塚
- 16日 第35回スリムクイーンコンテスト
審査員/石川、司会/高坂
全国緑化推進委員会連絡協議会 ゲスト/佐塚
- 18日 大阪経済大学 大樟春秋会 総会司会/石川
- 21日 全東京写真連盟 上野羽子板撮影会モデル/高坂,長尾
- 22日 ラジオ森ガールズのおしゃべりカフェタイム収録/佐塚
- 23日 ミス日本WEB「TITLE HOLDERS」取材/石川
- 31日 年末ジャンボ宝くじ 抽選会立会人 /石川

@@@専務理事・和田健太郎の編集後記@@@
ミス日本協会の1年間

12月に入り、来年1月開催の大会に向けて準備を進めています。規模や関わる人の大きいイベントですが、お陰様で何年も続けているため、ノウハウが蓄積しており、開催の形を整えるのはそう難しいことではありません。なので新しいアイデアを加えたいところです。ところで「ミス日本協会にアイデアをもちかけるならいつが狙い目?」と聞かれことがあります。こちらは365日いつでも大丈夫な気持ちではあるのですが、どんなアイデアがいつ頃だと狙い目なのか、目安を知るために、1年間の動きを記しておきたいと思います。

- 1月 コンテスト大会直前直後です。年末年始は10月11月に比べるとイベントが少ないので、大会の準備をどんどん進めています。誤解されがちなポイントとして大会後の方がスケジュールを取りづらいので、新アイデアなどがあれば大会前に一度話しておけるとありがたいです。ところで、新ミス日本への出演依頼は先約優先のため、日程が決まっているイベントは早めに連絡くださいませ。ちなみに恒例のイベントは半年前や1年前から日程抑えをするところが多いです。
- 2,3月 新ミス日本による表敬訪問や視察学習などを行います。受賞者決定後に大急ぎでスケジュールパズルを行います。この時期のご縁やアイデアがその受賞者の1年を左右すると言っても過言ではないため、新しい発想やご縁と結びつくための大変な期間です。受賞者についての新取り組みやアイデア相談などはぜひこの時期に!
- 4,5,6月 受賞したミス日本の活動が実っていく時期です。またこの時期から来年大会のスポンサー営業や、勉強会講師の調整をしていきます。来年大会のアイデアなどはこの時期にお話くださるとしっかり向き合えます!
- 7,8月 来年大会の募集締切が7月なので、予選や地区大会が始まっています。だいたい8月後半くらいにはファイナリストが揃い、勉強会日程も決まり「これで今年の終わりも見えてきたな」という気持ちになります。
- 9,10,11,12月 ファイナリストへの勉強会が始まります。現役ミス日本の活動は円熟してきます。10月11月のイベントラッシュも、彼女たちの頼もしいパフォーマンスにミス日本協会側が助けられることも多々あり、嬉しくなります。というわけで、来年に向けたアイデアなどありましたらぜひミス日本協会まで遠慮なくご相談くださいませ!

ファイナリスト勉強会 第2期

内面の美、外見の美、行動の美
これら3つの美を磨き、将来の夢を叶える実力を身につけます。

紫派藤間流三代目家元 藤間紫先生の日本舞踊の表現



日本舞踊の紫派藤間流三代目家元で、現在は女優としても多数の作品で活躍されている藤間紫先生による日本舞踊の講義。全員が和装姿で集合し、まずは日本舞踊の歴史から学びます。稽古場では、扇や礼の仕方、所作のひとつひとつについてレッスンしていきます。藤間先生の舞踊も披露して頂き、伝統文化を体全体で感じ取る機会となりました。

世界に誇る日本の水インフラと 水の天使への期待 川崎市&国交省



ミス日本「水の天使」は、水の広報官として業界の期待を背負って活動します。専門性の高い分野を学ぶため、川崎市入江崎水処理センターにて水循環を学び、見学していきます。講義では国土交通省の若公先生が、下水道がエネルギーや農業などの循環型社会に貢献できる点などを紹介。水業界の新しさをアピールしました。

能の宝生流 日本人らしさを感じる伝統



能楽シテ方宝生流能楽師として世界で能文化の普及に務める関直美先生による能の講義。宝生流能楽堂を貸しきつて、能の発祥の歴史からどのように文化が愛されて来たかを学びます。楽屋裏では実際に演目に使われる面(おもて)を実際に着用。そのまま舞台に入場させてもらうなど、一生モノの体験をさせていただきました。

現代を生きる必須技術 SNSの活用と危険を知る講義



数十万、数百万フォロワーを持つSNSインフルエンサーをプロデュース、管理してきたBuddyCompass代表の高石先生によるSNSプランディングの講義です。SNSは自分の強みを大きく表現できる一方で、活用の仕方が悪いといい結果に繋がりません。最新のトレンドや自分がどのような発信をしたいか分析し、また炎上などのリスク管理を学び、**SNSとの付き合い方**を学んでいきます。

3つの美とは？

内面の美

内面の美は、私を構成する要素を知ること、自分のルーツをたどることです。日本文化や伝統の他、自分の両親や祖先、育った土地や学校など、**自らを構成する要素を学びほぐす**ことで、自らの自信の土台を築きます。

外見の美

日々の鍛錬や選択の積み重ねです。親から受け継いだ体や資質をどう活かすのか、食べ物は何を選ぶのかなど**毎日の選択が外見を作ります**。繰り返し鍛錬することで技術が身につき、オーラ形成に繋がります。

行動の美

行動の美は、人生の目的を持ち、それに至るための目標を持つことです。目的や目標は挑戦して得られる経験によりどんどん変更して良く、**周囲を魅了して協働に導くチカラ**となります。内面と外見の両方が欠かせません。

自分らしい表現とファッショング 好きな服から似合う服へ



ファッショング指導の専門家の原先生による講義。ファイナリスト一人ひとりの自己紹介から表現の方向を分析し、服装の質感や生地など細かいところから、ファッショングの方向性を導き出していきます。

服選びは好きなものではなく、似合うものを選びます。指導を受け終わる頃には、みんな新しい服を探しに行きたくてウズウズしてしまう講義となりました。

教育コーチングで自分を分析 「私」の本当の生きる意味を問う



日本青少年育成協会のコーチ陣6名による目的と目標設定の勉強会です。丸一日をかけて自分の夢や生きる意味を言語化していきます。夢を口にすることはとても勇気がいることです。それを仲間のファイナリストに受け止めてもらいながら、自らが何を為すべき存在かを自分に言い聞かせていきます。変化のきっかけを作ったような一日となりました

10月31日

「生活を支える下水道施設の見学」

: 川崎市下水道局・入江崎水処理センターの皆さん

「世界に誇る日本の水インフラと水の天使への期待」

: 国土交通省 上下水道グループ 若公崇敏さま

「SNSブランディング」

: BuddyCompass 代表取締役社長 高石大地先生

「自分らしい表現とファッショング」

: DESIGN U LAB リュクスブランドディレクター 原雅香先生

11月1日

「日本舞踊の世界」と「日本舞踊の表現」

: 紫派藤間流・三代目家元 藤間紫先生

「日本人として今知るべき能」

: 能楽シテ方宝生流能楽師、茶道裏千家正教授
重要無形文化財総合指定保持者：関直美先生

お花と向き合い、美を探る



華道家元池坊華道教授の桶澤先生による生け花の講義。お花を実際に活けていきます。活け花は、自らが何を美と捉えているかが鏡写しに表現されます。ファイナリストたちが「美しいとはどんな状態なのか？」を自問自答しながらお花に向き合っていきます。出来上がった個性的な作品に、先生が少し手を入れるだけで、お花の勢いが大きく変わっていきます。そんな魔法のような熟練の技にも目を奪われる時間でした。

先輩ミス日本からのアドバイス ミス日本的心構え



ミス日本OG有志によるミス日本運営委員会が、スピーチとアピアランスの指導にあたりました。運営委員会はメンバーとして、働く隙間を縫って勉強会に参加し、アドバイスを行ってきました。事前に委員内にて分析と役割分担を計画し、当日はより魅力的に個性を出すための指導をします。質問が飛び交う充実した時間となりました。

カリキュラム

11月2日 「教育コーチング研修」

: 日本青少年育成協会

中園佳幸先生・大村伸介先生・仲野十和田先生

小澤珠美先生・篠崎浩先生・小野田光伸先生

11月3日

「お花から学ぶ美意識と感性」

: 華道家元池坊 華道教授 桶澤達也先生

「ミス日本的心構え」:ミス日本運営委員会

17みどり 野中葵、20水 中村真優

18海 山田麗美、19水 谷桃子

20GP 小田安珠、23みどり 上村さや香